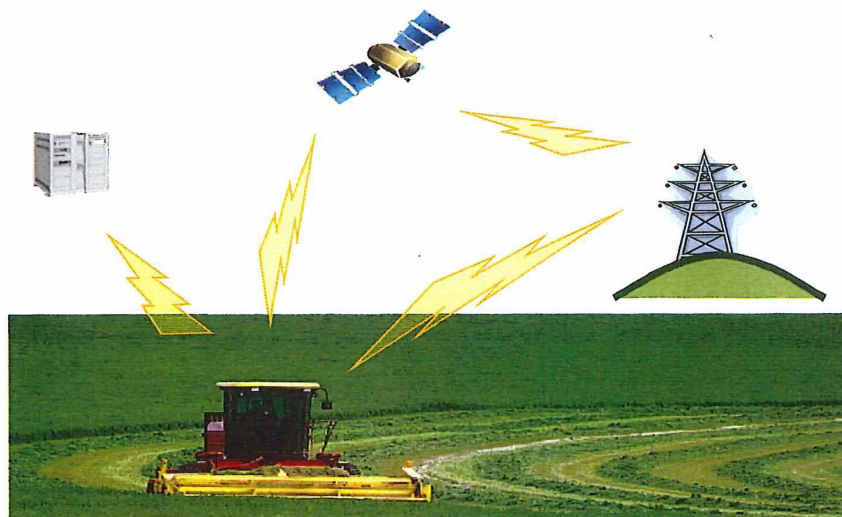


岩見沢市農業の概要



農政部農務課

1 岩見沢市農業の地位・特徴

《岩見沢市農業》

岩見沢市は、石狩川流域の東に位置する広大な平坦地にあり、空知地方の豊穡な大地の恵みを受け、穀倉地帯の一翼を担っています。

石狩平野の中央部にある当市は、泥炭地のため客土による土地改良を進め、石狩川、幾春別川、幌向川などの水量豊かな水系に恵まれた、肥沃で広大な耕地を活かし、古くから稲作を中心とした農業経営を展開し、お米の大産地となりました。

近年は、小麦・大豆・白菜・南瓜などの転作割合が増加しているほか、玉葱は北海道を代表する産地を形成し、「まるいわ」ブランドとして全国へ出荷しています。

この好条件下で、日本の食料基地としての重要な役割を果たしています。

《岩見沢市農業の状況》

岩見沢市は、行政面積48,102haのうち、耕地面積が19,800haであり、行政面積に占める耕地面積割合は、41.2%になります。

耕地の構成比は、田82.8%・畑17.2%です。

農家戸数は1,265戸で、農家1戸あたりの平均経営耕地面積は15.7haであり、農業を主業とする農家の割合も79.7%を占めるなど、大規模な専門的経営を展開しています。

近年は、規模拡大への対応やコスト縮減等による所得向上を目指し、全国に先駆けてスマート農業の普及促進に取り組んでいます。



○ 水量豊かな水系に生まれ、肥沃で広大な耕地を活かして、北海道を代表する大規模な水田農業を展開。

— 岩見沢市の位置 —

区分	耕地面積	田の面積	農家戸数
空知24市町中	1位	1位	1位
全道179市町村中	9位	1位	2位

・耕地面積(令和元年農水省「耕地及び作付面積調査」)

	単位	岩見沢市	北海道	全国
総土地面積	ha	48,102	8,342,380	37,797,417
耕地面積	ha	19,800	1,145,000	4,420,000
耕地率	%	41.2	13.7	11.6

— 構成比(30年) —

	単位	岩見沢市	北海道	全国
田	%	82.8	19.4	54.4
普通畑	%	17.2	80.6	45.6

○ 1戸あたりの経営耕地面積は15.7haと大きく、販売農家に占める主業農家の割合は79.7%と高い、大規模で専門的な経営を展開。

・農家数(H27年農水省「農林業センサス」)

	単位	岩見沢市	北海道	全国	都府県
総農家数	戸	1265	44,433	2,155,082	2,110,649
販売農家	戸	1041	38,086	1,329,591	1,291,505
主業農家	戸	830	27,828	293,928	266,100
主業農家割合	%	79.7	73.1	22.1	20.6
耕地規模/1戸	ha	15.7	25.8	2.1	1.6

注: 主業農家割合=主業農家数/販売農家数

耕地規模=耕地面積/総農家数

— 販売農家1戸あたり基幹的農業従事者数 —

区分	岩見沢市	北海道	都府県
1戸あたり人数	2.4人	2.3人	1.3人



ワイナリーとヴィンヤード

区画整理された圃場



2 岩見沢市農業の動向

- 耕地面積は、2万ヘクタール弱で推移し、うち田の割合が80%以上。

・耕地面積(令和3年農水省「耕地及び作付面積調査」)

	単位	17年	28年	29年	30年	31年	2年
耕地面積	ha	19,890	19,800	19,800	19,800	19,800	19,800
田の面積	ha	16,450	16,400	16,400	16,400	16,400	16,400
田の割合	%	82.7	82.8	82.8	82.8	82.8	82.8

注：17年までは、旧3市町村データを集計しているため、10ha単位まで表示。

- 農家戸数は、毎年約30戸程度減少しており、27年の総農家戸数は1,265戸。また、農業労働力の高齢化が進行しており、高齢者の占める割合は1/3以上。

・農家戸数、農業就業人口等の推移(H27年農水省「農林業センサス」)

	単位	2年	7年	12年	17年	22年	27年
総農家戸数	戸	2,828	2,380	2,076	1,743	1,398	1,265
農業就業人口	人	6,497	5,321	4,595	3,823	3,175	2,686
高齢者割合	%	18.9	22.6	29.1	34.3	33.3	34.7

注：高齢者＝65歳以上。

注：農業就業人口は、自営農業に主として従事した世帯員数による。

— 高齢者割合(27年) —

岩見沢市	北海道	全国	都府県
34.7%	36.0%	63.5%	64.8%

・離農理由別農家戸数(市農業委員会調べ)

	単位	労働力不足	後継者不足	経営不振	将来不安	計
平成27年	%	14.3	78.5	3.6	3.6	100.0
平成28年	%	0	70.6	29.4	0.0	100.0
平成29年	%	0	92.6	3.7	3.7	100.0

- 新規就農者は、年十数名で推移しており農家戸数の減少に追いつかない状況。北海道・都府県でも同じ傾向。

・新規就農者数の推移(市農務課調べ)

	単位	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年
新学卒者	人	2	2	4	5	2	2	3	2	4	7	4	12
Uターン者	人	8	10	4	27	10	9	5	9	7	9	12	8
新規参入者	人	0	1	0	1	2	2	4	0	0	1	0	1
計	人	10	13	8	33	14	13	12	11	11	17	16	21

- 平成5年に創設された認定農業者制度は、平成16年からの産地づくり対策を契機に急増。現在819経営体となっている。

・認定農業者数の推移(市農務課調べ)

	単位	12年	17年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年
認定農業者	人	221	1,035	987	977	975	933	925	920	905	893	844	819
対主業農家割合	%	14.8	86.8	102.5	101.5	101.2	96.9	96.1	110.8	109.0	107.6	101.6	98.7
主業農家数	人	1,497	1,193	963	963	963	963	963	830	830	830	830	830

- 米の作付けは、田の40.5%で、主な転作作物は、小麦・大豆・玉葱・白菜。

・主要作物作付面積の推移(令和3年農水省「作物統計調査」)

	単位	17年	27年	28年	29年	30年	元年	2年
米	ha	8,460	7,170	6,660	6,580	6,610	6,650	6,430
小麦	ha	4,161	5,150	5,260	5,330	5,180	5,440	5,220
大豆	ha	763	1,640	1,890	2,060	2,160	2,040	2,090
玉葱	ha	1,106	1,120	1,110	1,180	1,190	1,160	1,160
白菜	ha	219	189	184	185	175	169	169

保全すべき棚田の位置図



岩見沢市上幌(遠景)



岩見沢市上幌(近景)



岩見沢市上幌



岩見沢市上幌



岩見沢市毛陽



岩見沢市毛陽



集落協定の概要

1. 集落協定（R3年度取組）

市町村・協定名	岩見沢市 毛陽集落協定			
協定面積 1.4 ha	田 1.4ha	畑	草地	採草放牧地
交付金額 450 千円	個人配分			50 %
	共同取組活動 (50 %)	役員等各担当者の活動に対する経費		24 %
		農業生産活動等の体制整備に向けた活動等の集落マスタープランの将来像を実現するための活動に対する経費		52 %
		水路、農道等の維持・管理等集落の共同取組活動に要する経費		17 %
		農用地の維持・管理活動を行うものに対する経費		7 %
毎年の積立額または次年度への繰越予定額		0 %		
協定参加者	農業者 2人	農業生産法人 1法人	開始 R 3年度	

2. 取組の内容（今まで取り組んできた主なもの）

(1) 農業生産活動等

- ・ 4月頃、万美集落と連携し、毛陽交流センター周辺の清掃活動（ごみ、枝）を実施
- ・ 6月末頃、水路周辺草刈りを200m実施
- ・ 6月頃、万美集落と連携し、毛陽交流センターに景観作物（ペコニア、約100㎡）の植栽を実施
- ・ 7月末頃、汲み上げポンプの整備を実施

(2) 農業生産活動等の体制整備

- ・ 集落戦略作成の話し合いを5月に実施
- ・ 5月頃、農作物の被害防止のため、市有害鳥獣対策協議会と連携して、鹿のくくり罠、アライグマの箱罠を設置
- ・ 労働力不足解消のため、毛陽集落の農業生産法人（毛陽農産）に対し、水稻の防除等の農作業委託を実施
- ・ 漏水防止等のため、畦塗を100m実施。

(3) 取組状況



草刈り



畦畔の再構築



毛陽・万美紅葉祭り（米等直売）

※R2, 3年度は新型コロナウイルスの影響により中止となったが、例年10月頃に開催されているイベント。市外からも観光客が訪れる。